



SAKURAdayori

vol.2 Apr.2010 さくらだより

東邦大学医療センター
佐倉病院の基本理念

- 質の高い医療を安全に提供する病院
- 地域に貢献する病院
- 人間愛を共有する病院
- 楽しく明るくチャレンジする病院
- 良き医療人を育成する病院

医療安全管理室より

～病は愛で癒やす～

東邦大学医療センター佐倉病院 副院長 医療安全管理室室長 外科教授 加藤 良二

安全管理室室長の加藤です。東邦大学医療センター佐倉病院で取り組んでいる医療安全についてご説明します。

医の基本は、慈しみの心です。患者さんや家族あるいは同僚、即ち自分以外の全ての人に対する思いやりと愛情であります。常に相手のことを考え、どうやって自分が役に立てるかという考えを持ち続けることが我々の基本スタイルです。これを患者さんが信頼してくれ、治療として成り立っていると考えています。

しかし、医療人もヒトである限りちょっとした気のゆるみや、知識の不足さらには職場での余裕の無さなどから事故が起こることもあります。また、医療は非常に不確実なものであって、常に危険をはらんでいます。最先端の手術や最新の薬剤を用いた治療は、未知数の可能性を持っていますが、思わぬトラブルを含んでいる危険性もあります。ヒトはミスを起こすということを自覚した上で細心の注意を払って治療を行うようにしています。また、医療安全管理室はミスが生まれないようにチェックする活動を行っていますが、これにも自ずと限界はあります。

職場環境について考えてみましょう。欧米に比べて看護師や医師数は絶対的に不足しています。医療費(対GDP比)はOECD加盟GDP先進30ヶ国中19番目と依然として低いレベルであるにもかかわらずマスコミでは必ずしも正確に伝えられていません。今年わずかに医療費は引き上げられましたが、まだまだ低レベルの費用で現場は頑張っています。しかし、WHOでは日本の医療機能を世界最高と評価しています。まさに血の滲むような努力で世界に誇れる我が国の医療を支えていますが、明らかにミスを犯したわけでもないのに不幸な事態に陥ることがあります。しかし、こ

れを補償する制度(無過失責任補償)がどこにもないのが現状で、

行き場のない怒りや悲しみの矛先が医療関係者に向けられて訴訟やトラブルとなっています。

このような不幸な事態にならないよう東邦大学医療センター佐倉病院では、約9年前から様々な取り組みを行っています。毎月職員約250名が参加して行われる医療安全研修会(すでに100回を越えています)や不定期に行われる質の向上のためのセミナーでは、みんなで考え、討論して職員の安全への意識を高めています。また日々の診療で経験されるほんの些細なことから重大な事故に至る出来事をリアルタイムに報告する体制を整えています。この報告をもとに各部署の安全リスクマネジャー会議で分析して対策を練り、実践することで現場での質の向上に役立てています。

最近話題の静脈血栓塞栓症の予防対策として全国に先駆け、いち早く各診療科を越え病院を挙げて手術前後の対策・管理に取り組んでいます。この活動は全国的に高く評価され徐々に日本中に広まっています。

このように佐倉病院では、医療安全管理室、安全管理インスペクター、職場での安全管理責任者、安全管理者、各部門部署のリスクマネジャーを中心として、常に質の高い医療を安心に提供できるよう活動しています。また、病院の職員だけでなく病院へいらっしゃる患者さんや付き添いの方も医療安全の担い手です。少しでも気にかかったことがありましたら黄色いワッペンや肩章をつけている職員に気軽に声をかけて下さい。関係するみんなの手で明るい未来の医療を支えていきましょう。





市民公開講座のご案内

「耳の日」～市民公開講座と耳の健康と補聴器に関する無料相談会～を開催しました。

難聴者のために少しでも役に立ちたいという願いをこめて、日本耳鼻咽喉科学会が提案して昭和31年から3月3日を「耳の日」と、一般への啓蒙活動が始められました。今は、3月3日の「耳の日」といえば、耳を大切にする運動の日と広く定着し、カレンダー・日記帳・国語辞典の見出しにもなっています。



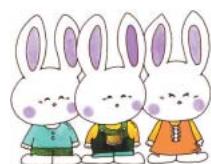
日本耳鼻咽喉科学会では、毎年この日を記念して都道府県ごとに、難聴で悩んでいる方々の相談や、一般の方々にも耳の病気のことや、健康な耳の大切さを知っていただくための活動を行っています。

今年、千葉県での第55回耳の日は、東邦大学医療センター一佐倉病院を会場に開催されました。主催は日本耳鼻咽喉科学会千葉県地方部会で、共催として東邦大学医療センター一佐倉病院、日本医科大学千葉北総病院、東京女子医科大学八千代医療センター、千葉県補聴器協会であり、印旛市郡医師会、八千代市医師会、千葉市医師会が協賛しての開催でした。午前10時から市民公開講座として、「治る難聴・治らない難聴」の演題で東邦大学医療センター一佐倉病院

難聴・めまい回復センター長、鈴木光也教授によるお話をいただき、次に「耳鳴の治療」という演題で日本医大千葉北総病院耳鼻咽喉科、馬場俊吉教授にお話をいただきました。各講演の最後に、ご来場の皆様から多数のご質問をいただきました。皆様のご質問は、日常の困ったこと、悩んでいることなどで、会場の皆様もうなずきながら聞き入っていました。3月に入ったにもかかわらず、前日からの寒

い雨が続き、当日のご来場者が少ないのでないかと危惧しておりましたが、100名を超える方々にお出でいただき、盛会のうちに2時間の市民公開講座が終了いたしました。午後からは、耳の健康と補聴器の無料相談会を開催いたしました。相談会では多くの方々のご相談に応じたかったのですが、多くの制約があり、80名強の応募をいただきましたが、先着50名様のご相談と限させていただきました。ご応募いただいた方々で先着から外れてしまった方々には、大変申し訳なく思っており、この場をお借りして深謝申し上げます。相談会は、聴力を測定した後に相談医師が直接個人ごとにお話しされるという方法ですすめられました。また、その場で補聴器を試聴していただくこともできました。本当に困っておられるご質問内容が豊富で、担当した医師が答えに窮するようなご質問もありました。ご来場された方々に、ご満足いただけておりましたら幸いです。

担当しました医師や聴力測定や補聴器の相談を一緒に行ってくれた補聴器協会の面々が、このような機会を持つことができて良かったと、ご来場下さった方々に感謝いたしております。耳に関心を持っておられる方々が非常に多いことに驚いたと同時に、今後の診療について多くの教訓を得た市民公開講座でした。



市民公開講座のお知らせ（予約不要・無料）

開催予定日	講演予定テーマ	担当
4月 3日(土)	歩行障害	神経内科・脳神経外科他
5月22日(土)	女性がん（乳癌・子宮癌）	外科・産婦人科
6月26日(土)	いびきと心臓	循環器センター
7月10日(土)	排尿障害	泌尿器科他
7月24日(土)	頭痛	神経内科・脳神経外科他

ほぼ毎月、身近な疾患や症状をテーマにした市民公開講座を企画しております。多くの方にご参加いただき、病気の予防や早期発見、普段の生活に役立てていただければと考えております。

いずれの講座も14時から当院東棟7階講堂で開催する予定です。詳細は院内掲示およびホームページなどでご案内いたします。お問い合わせや講演テーマのご要望がございましたら、総務課にご連絡下さい。

佐倉病院における腹腔鏡手術

外科 木下 敬弘



今日、多くの腹部疾患に対して体に優しい手術（低侵襲手術）が外科治療の主体を占めるようになってきました。小さな傷を数か所おいてカメラをお腹の中に挿入して行う手術を腹腔鏡手術（ふくくうきょうしゅじゅつ）と呼びます。当科ではこの腹腔鏡手術を胃がん、大腸・直腸がん、潰瘍性大腸炎、クローン病、胆石症・胆のう炎、虫垂炎、腸閉塞、食道アカラジア、血液疾患による脾腫、など多くの疾患に対して行っています。腹腔鏡手術の長所は体への負担も少なく回復が早い点、傷が目立たない点、が知られていますが、当院ではハイビジョンシステムを導入し、高解像度の画像をもとに精密・確実な質の高い手術を実践しております。2009年1年間の主な腹腔鏡手術の件数は胃がん手術50例、大腸・直腸がん手術82例、大腸全摘術10例（潰瘍性大腸炎）、胆囊摘出術79例、虫垂切除術47例であり県内有数の件数を誇っています。手術は日本内視鏡外科学会の審査を受けた技術認定医を中心に行われており、当院の手術は全国からも高い評価を受けております。2009年には全国規模のトレーニングコース・セミナーに12回（特に胃がん手術に関して）、講師として招聘され“東邦佐倉”的手術は全国の若手外科医に伝えられています。

口コミのほか、近隣病院・診療所からの紹介を通じて患者さんが当院で腹腔鏡手術による治療を受けていま



す。2009年には千葉県内のみならず東京都、茨城県、埼玉県からも患者さんが来院されました。また2010年1月にはアメリカ・ジョージア州から患者さんが来院し、アメリカの病院では難しいと言われた食道胃接合部の腫瘍に対する腹腔鏡下胃全摘術を受け元気に帰国されました。

また、当院においては肺疾患（肺がん、気胸）に対する胸腔鏡手術、婦人科領域の腹腔鏡手術も高いレベルで行われております。さらに本年4月からは泌尿器科領域（腎、副腎、前立腺などの疾患）に対する腹腔鏡手術もスタッフをそろえて本格的にスタートします。今後も安全で質の高い、体に優しい手術を提供できるよう病院スタッフ一同、努力を続ける所存です。

おくすりと食べ物の『相性』

薬剤部 谷口 晴頼



私たちがいつも飲んでいるおくすりの中には、食べ物と相互作用（薬の効果が強く現れたり、弱く現れたりすること）を起こすものが稀に含まれています。今回は食品中に含まれるビタミンKとワーファリンの相互作用について紹介します。

ワーファリンは、血液をかたまりにくくするおくすりです。血液の流れが悪くなったり、血管が傷つけられたりすると、血液のかたまり（血栓）ができやすくなります。心筋梗塞や脳梗塞を起こした方は、血栓によって再発を起こす危険性がありますから、ワーファリンを飲んで血栓をできにくくしています。

ところで、血液が凝固する反応にはビタミンKが必要です。ワーファリンは、生体内でのビタミンKのリサイクルを妨げることで、血液凝固を抑える効果を発揮しています。ですから、ワーファリンの服用中にビタミンKを摂取するとワーファリンの薬効が弱められてしまいます。ビタミンKは食品

中にも含まれているので、ワーファリンを服用している時は、ビタミンKの多い食品（納豆、クロレラなど）を避けることが重要です。1日のビタミンK摂取量が0.25～1mgを越えるとワーファリンの効果に影響が出るとされていますが、納豆には100gあたり0.6～1mg、クロレラには100gあたり約3.6gのビタミンKが含まれています（特に納豆に含まれる納豆菌は腸の中でもビタミンKを産生するといわれています）。

このほか、青菜や黄緑色野菜などもビタミンKを含んでいますが、こちらは一度に大量に食べなければ、それほど心配する必要はありません。ビタミンKの多い食品はインターネットなどでも調べることができます。気になる食品がありましたら、詳しくは医師・薬剤師におたずねください。



佐倉病院の受診方法について Q&A

今回は、皆様からよくご質問いただく内容を掲載いたしました。
これ以外にもご不明な点があれば、職員までおたずねください。



Q.紹介状をもっていない場合、どうなりますか？

- A.初診時に他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合には、初診に係る費用（選定療養費）2,100円を別途ご用意していただきます。
選定療養費とは、健康保険法上、他の医療機関の医師の紹介状がない場合に、健康保険の自己負担分とは別にお支払いしていただくものです。

Q.クレジットカードでお支払いすることは可能ですか？

- A.外来費・入院費のお支払いにつきましては、クレジットカード（DC・VISA・JCB・マスターカード）がご利用できます。
ダイナースクラブ、アメリカン・エキスプレスは、ご利用できません。

Q.窓口負担を軽減させる制度はありますか？

- A.70歳未満の方（自己負担割合：3割）の入院等にかかる窓口での支払いを、一定の限度額にとどめることができる「限度額適用認定証」の取得をお勧めしております。
所得に応じて自己負担限度額が異なり、食事代・差額ベッド代・保険外選定療養費は対象外となります。



Q.駐車料金はいくらですか？

- A.駐車料金は、12時間以内150円です。ただし、急な入院等で1日以上駐車された方に関しては、1日につき1,000円いただいております。

外来受診のご案内

■受付時間

初診 8:30～11:00 再診 8:30～11:30

※一部診療科では午後の受付となる場合があります

■休診日

日曜日、祝祭日、第3土曜／創立記念日（6月10日）

年末年始（12月29日～1月3日）

■代表電話番号 043-462-8811

予約変更専用 043-462-0489（平日14時～16時）

■健康保険証（原本）、その他の公費負担受給者証

（原本）を必ずご持参下さい。

■各科外来担当医はホームページ

<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp> をご覧ください。

お見舞いについて

【面会時間】

平 日 15:00～19:00

土・日・祝日 11:00～19:00

（2階西病棟13:00～19:00）

防災センターで面会手続きの上、お見舞いカードを装着してお入り下さい。

時間内での面会が無理な場合は看護師にご相談下さい。状況に応じ時間外面会許可証を発行いたします。

編集後記



日差しが暖かくなり、佐倉病院の花の季節が始まりました。病院の周りにはこぶし、もくれん、椿、梅、雪柳、水仙、レンギョウなどが次々に咲きます。そして何よりも、玄関の山桜です。この名木は、開院時に市民からの強い要望で残され、今日に至っています。昼間は、患者様がささやかなお花見を楽しみ、夕刻は仕事帰りの職員は夜桜を見て、一日山桜は人々の疲れを癒してくれます。来院時には、ぜひお楽しみください。（鈴木）



編集・発行：東邦大学医療センター佐倉病院 広報委員会

〒285-8741 佐倉市下志津564-1 TEL.043-462-8811（代表）

発行日：2010年4月【年4回（1・4・7・10月）発行】

URL：<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp>